

主な年間事業

中日新聞は地域文化やスポーツの発展を考えます
だから数多くのイベントを応援しています

春

3月 プロ野球オープン戦
中日杯争奪 チャリティーゴルフ大会
全国高等学校選抜ポート大会
県西部レディース革、軽量、混合、ゴム中日旗争奪バレーボール大会
浜松吹奏楽大会

4月 中日杯レディースゴルフ大会
浜松市動物園 春の写生大会
中日いけばな芸術展



(中日いけばな芸術展)

5月 P T A 新聞、広報紙づくり講習会
中日写真展浜松展

秋

9月 藁科川中日鮎友釣り競技大会
静岡県西部高等学校 バレーボール選手権大会
天竜サイクルツーリズム
浜名湖アート・クラフトフェア

10月 中日杯レディースゴルフ大会
中部日本吹奏楽コンクール本大会(隔年)
静岡県西部地区中学校野球大会
中日ボランティア賞贈呈式
静岡県高校写真コンクール

11月 エコパトラックゲームズ
静岡県西部地区中学校 新人バスケットボール大会
中日軟式野球リーグ選抜大会
P T A 新聞、広報紙作品展

夏

6月 中部日本吹奏楽コンクール 静岡県大会
中日クイーンズカップゴルフ大会
静岡県中学選手権競漕大会・

7月 中日写真サロン展
マイアート展
浜名湾短水路選手権水泳競技大会

8月 とびうお杯 全国少年少女水泳競技大会
プロ野球公式戦
静岡県中学軟式野球クラブ選手権大会
創元展



(館山寺温泉灯籠流し花火大会)

冬

12月 静岡県西部 S C 水泳競技大会
中日チャリティーゴルフ大会
ふるさと知名人チャリティー色紙展
中日静岡ジュニア体育賞

1月 静岡県中学校 新人バレーボール大会
静岡県西部駅伝競走大会
浜名湾長水路選手権水泳競技大会
中日書き初めコンクール 作品展
新入学を祝うよい子のつどい



(浜松シティマラソン)

2月 再興院展(隔年)
管楽器個人・重奏コンテスト 静岡県大会
中日浜名湖一周駅伝競走大会
浜松シティマラソン

この他に浜松市美術館、浜松科学館などで特別展を開催。各地のお祭り、花火大会などを共催・後援しています
※開催時期は2013年のものです(予定含む)。年によっては開催時期が前後する事もございます

お問い合わせは もよりの  中日新聞社 まで

中日新聞東海本社 広告部 〒435-8555 浜松市東区薬新町45

TEL053-421-9118 FAX053-421-6218

名古屋本社広告局
〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1 TEL052-221-0686

東京本社広告局
〒100-8505 東京都千代田区幸町2-1-4 TEL03-6910-2485

北陸本社広告部
〒920-8573 金沢市駅西本町2-12-30 TEL076-233-4640

岐阜支社広告部
〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通1-12 TEL058-266-4791

大阪支社広告部
〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-43 TEL06-6346-1115

福井支社広告部
〒910-0005 福井市大手3-1-8 TEL0776-28-8605

■ホームページアドレス

中日新聞:静岡 <http://www.chunichi.co.jp/article/shizuoka/>
中日新聞社広告局 <http://www.tokyo-np.co.jp/approach/>
中日新聞 <http://www.chunichi.co.jp/>
東京新聞 <http://www.tokyo-np.co.jp/>

北陸中日新聞 <http://www.chunichi.co.jp/hokuriku/>
日刊県民福井 <http://www.chunichi.co.jp/kenmin-fukui/>
中スポ・トーチュー <http://www.chunichi.co.jp/chuspo/>
Chunichi.NAVI <http://navi.chunichi.co.jp/concept/index.html>



浜松で編集・印刷・発行

中日新聞 東海本社版

のご案内

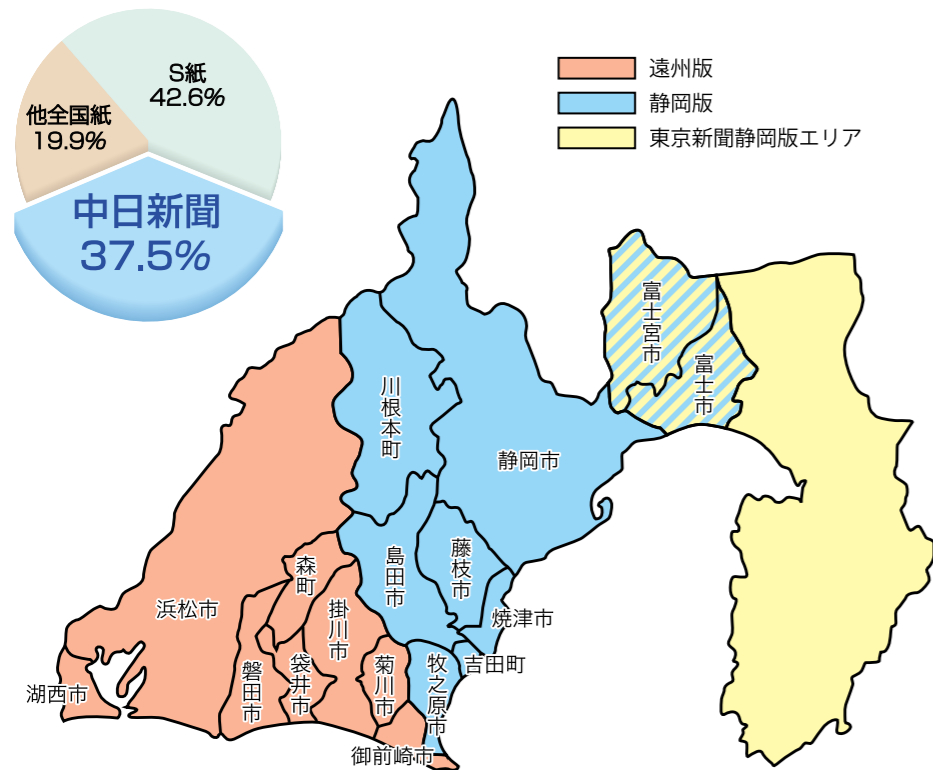


配布地域・部数

中日新聞東海本社版は地元で編集・印刷・発行
だから地元で根付いた信頼性の高いメディアです。

中日新聞東海本社版 部数 137,484部

天竜川以西(浜松市・湖西市)のシェア



東海本社版

遠州版	
浜松市	83,366
掛川市	6,295
菊川市	3,725
御前崎市	2,750
袋井市	7,450
磐田市	13,279
湖西市	11,930
森町	946
合計	132,741

静岡版	
静岡市	1,385
藤枝市	310
焼津市	216
牧之原市	1,059
島田市	953
富士宮市	120
他市	120
郡部	580
合計	4,743

グループメディア

商圏は市境県境を越え、ますます拡大していきます。
だから中日のグループメディアが役立ちます。

遠州版+東三河版

遠く徳川家康の時代からモータリゼーションが進んだ現代まで、遠州と東三河は密接なつながりがありました。

そして、この大きな商圏をカバーできる媒体は中日新聞しかありません。

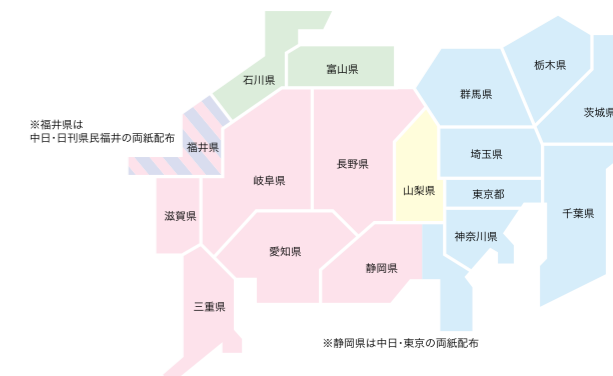
二版合計部数
307,559部



中日グループの日刊紙

日々躍動する首都東京、ものづくりを支える名古屋、誇れる文化を持つ金沢…

中日新聞グループは、日本を支える関東・中部の一都十五県で、効率よく日刊紙を発行しています。



中日新聞配布エリア
中日新聞
朝刊 2,654,359部
夕刊 498,875部

日刊県民福井配布エリア
日刊県民福井
朝刊 40,220部
※日刊県民福井は2013年自社公表部数

北陸中日新聞配布エリア
北陸中日新聞
朝刊 97,906部
夕刊 8,848部

東京新聞配布エリア
東京新聞
朝刊 530,561部
夕刊 205,539部

読者データ

新聞接触時間(朝夕刊合計)		
	中日新聞読者	静岡県全体
平日	26.1分	23.3分
土日	28.4分	25.7分

世帯年収・小遣い		
	中日新聞読者	静岡県全体
平均世帯年収	737万円	668万円
平均こづかい(1ヶ月)	24,494円	23,953円

新聞広告を見ての行動・レスポンス(1年間)

	中日新聞読者	静岡県全体
その商品やサービスについて問い合わせや資料・サンプル請求をした	13.4%	9.3%
切り抜いたり、取り置いたりした	24.4%	20.4%
新しい車種やニューモデルに関心を持った	35.9%	23.0%
観光地・レジャー施設に行った	27.8%	18.2%
百貨店・デパートに買い物に行った	26.5%	24.9%
旅行の申し込みをした	12.7%	8.0%

※出展 ビデオリサーチ「第12回 全国新聞総合調査」(J-READ2012実施)

中日と静岡県

中日新聞は静岡県と明治時代からのおつきあい
だからこれからも地域とともに歩みます

中日新聞の前身「新愛知」は、創刊翌年の明治22年には既に浜松で販売店を2件持っていました。さらに新愛知は明治45年に現在の浜松市中区千歳町で「駿遠日報」を印刷発行、大正12年には静岡市でも「駿河新聞」を発行しました。こうして新愛知は第二次大戦前には静岡県下で約4万部の新聞を発行し、県中西部において地域のオピニオンリーダーの役割を果たして来ました。そのパワーは静岡新聞の社史にも「新愛知は本県の中、東部に勢力を張るところまではいかなかったが、西部にあっては他紙を圧倒する勢いであった」とあるほどです。

ただし戦時下となった昭和17年に浜松での新聞制作・印刷を中止、昭和20年には一県一紙体制が強制され中日新聞の前身「中部日本新聞」は県下発行紙を静岡新聞に譲渡し、一旦読者との関係は途切れます。



東海本社設立当初の編集局=昭和56年

しかし戦後の統制解除と共に再び遠州地区に復帰します。昭和24年には販売店組織「静岡県中日会」が発足し部数を回復、昭和56年には愛される郷土紙としての地位を確立するため、東海本社を設立し念願の浜松での編集・印刷・発行を再開しました。それ以降はよりきめ細かな地元の情報や全国・世界の動きを読者に届け、地域の事業を応援してきました。平成23年には東海本社は30周年を迎えて、さらに大きく発展するべく地域の皆様と共に歩んでまいります。



新愛知浜松支局(駿遠日报社)=昭和15年ごろ

※参考 中日新聞創業百年史、中日新聞社の百二十年、静岡新聞四十年史
※部数は全てABCレポート2013年1-6月